

<平成30年度>

市立病院 部課長方針



事務局 事務局長 榎本 弘文

事務局庶務課
庶務課長

小川 淳治

医務局看護科
看護部長

白畑 多加江

医務局薬剤科
薬剤部長

濱浦 睦雄

医務局放射線科
放射線科長

小板橋 和博

医務局臨床検査科
臨床検査科長

藤井 豊善

医務局栄養科
栄養科長

高田 隆

平成30年度 部長方針

部	市立病院	事務局長	榎本 弘文
---	------	------	-------

部の運営方針

1. 業務遂行にあたっての基本的スタンス

- ・市民の健康の維持増進を第一とし、地域住民に愛される病院となることを目指す。
- ・患者及び家族の皆様が満足できるよう、安全で質の高い医療サービスの提供を目指す。
- ・職員一人ひとりが経営意識を持ち、業務改善に取り組む。
- ・常に医療現場の状況把握に努め、職員が働きやすい環境づくりに取り組む。

2. 重点的に取り組む事業とその目標

- ・市立病院将来構想の策定
当院の地域での役割やあるべき姿などを明確化
- ・第2次経営改革プラン（改訂版含む）の推進
経営改革プラン行動計画実施項目の推進と進行管理
- ・地域医療連携の更なる強化
専門職を活かし医療機関、介護施設等との更なる信頼関係の構築
- ・医師の確保
診療体制充実のための医師の確保
- ・職員の接遇レベル向上
接遇レベルの維持・向上のため、外部講師による接遇研修の実施
- ・診療報酬施設基準の適正管理と新規取得
当院の医療資源を最大限活用した施設基準の適正管理と診療報酬改定への対応
- ・未収金対策の強化
未収金対応マニュアルに基づく未収金の発生抑制・回収強化

3. 部員に求める必要な心構え

- ・患者や家族に対して、常に自分が病院の顔であるという自覚を持って行動する。
- ・問題意識と探究心を持って自己研さんに励み、自己能力の向上に努める。
- ・業務においては、部署内はもとより、部署間で積極的に連携、協力する。

平成30年度 課長方針

部課	市立病院 事務局 庶務課	課長	小川 淳治
----	--------------	----	-------

課の運営方針

- ・第2次経営改革プランの行動計画を医療従事者ととも遂行し、安定した病院運営を目指す。
- ・平成30年の診療報酬改定の内容に則した適切な施設基準の取得に努める。
- ・各診療科等の医療従事者に様々な情報発信を行ない連携を密にしながら安定した収益の確保に努める。
- ・庶務課職員は常に病院経営を意識しながら業務を遂行する。

主要事業

事業名	事業内容	目標
第2次経営改革プランの進行管理と公立病院改革推進への対応	第2次経営改革プランの進捗状況を管理し、安定経営につなげる。	第2次経営改革プランの進捗状況を半期、年度ごとに管理し、更なる病院経営の健全化を図る。
医業収益の確保	平成30年診療報酬改定への的確な対応	診療報酬改定により新たに評価される項目に対し院内関係部署との連携を図り、多くの施設基準届出を行い収益の向上を目指す。
医療スタッフの確保と充実	市民に安心・安全な医療を提供するため、医療スタッフの確保に努める。	診療体制の充実のため、医療スタッフの確保と充実を図り安全安心な医療を提供し、収益の向上を目指す。
将来構想の策定	市立病院将来構想を策定する。	新公立病院経営改革ガイドラインや埼玉県地域医療構想を踏まえ、当院のあるべき姿と役割を明確化するとともに施設のあり方も含めた市立病院将来構想を策定する。

平成30年度 科長方針

部課	市立病院 医務局 看護科	科長	白畑多加江
----	--------------	----	-------

科の運営方針
<ul style="list-style-type: none">・専門職としての倫理観・知識・技術をみがき、看護の質向上に取り組みます・チーム医療を推進し、効果的な看護の提供を図ります・社会の変化に柔軟に対応し、健全経営に看護の視点で参画します

主要事業		
事業名	事業内容	目標
採用職員研修	既卒職員支援計画に沿った活動	既卒支援計画の評価に基づく活動により定着を図る。
新卒職員研修	新人助産師研修	新人助産師研修ガイドラインに基づく教育の実践
離職防止	働きやすい職場環境の整備	育児短時間勤務の定着、育休者の円滑な復帰を図る。
診療報酬関連	30年度改定対応	看護必要度、データ加算、認知症加算等の円滑な対応
看護助手の活用	助手の職場環境の改善	急性期看護補助体制加算25対1、夜勤加算の導入

平成30年度 科長方針

部課	市立病院 医務局 薬剤科	薬剤部長	濱浦 睦雄
----	--------------	------	-------

科の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に細心の注意を払い、患者の有効かつ安全な薬物療法に貢献し、質の高い医療サービスを提供する。 ・蕨市の中核病院として、医療・福祉に必要な医薬品の安定供給に万全を期す。 ・退院後も地域において必要な薬物療法がシームレスに継続されることを目指し、病棟における薬剤師業務の展開を図る。

主要事業		
事業名	事業内容	目標
薬剤管理指導業務の充実	病棟における薬剤管理指導業務の充実を図る。	5階・3階病棟に薬剤師を配置し、月100件の算定件数を目標とするとともに、質の高い薬物療法の提供に資するよう業務内容の充実を図る。
退院時薬剤情報管理指導業務の充実	退院時に必要な情報を提供し指導を実施する。	国の地域包括ケアシステム推進を鑑み、退院後も切れ目なく薬物療法が継続されることを目的とし、月15件の算定件数を目標とする。
薬剤総合評価調整加算の算定	多剤併用の場合、処方内容が必要かつ継続可能であるか評価し、医師に情報提供する。	入院前内服薬6種類以上処方されていたものが退院処方で2種類以上減少し、医師が診療録に評価内容を記載した場合に算定する。年12件の算定件数を目標とする。
無菌製剤処理料1口)の算定	外来及び入院がん化学療法の薬剤調製を実施、無菌製剤処理料1口)を算定する。	現在、中心静脈栄養のみ無菌製剤処理料2を算定しているが、がん化学療法においても施設基準を満たすことで、月5件を算定する。
ジェネリック医薬品及びバイオ後続品の導入	患者の経済的負担を軽減しうるジェネリック医薬品及びバイオ後続品を導入する。	医師とコンセンサスを図りながら導入品目を選定する。

平成30年度 科長方針

部課	市立病院 医務局 放射線科	科長	小板橋 和博
----	---------------	----	--------

科の運営方針

- ・最新医療技術の習得を怠らず安全で質の高い検査を保証し、診断・治療に役立つ画像の提供を努める。
- ・放射線科内で情報の共有を図り、他科との連携を密にしチーム医療を行う。
- ・放射線検査に関する説明及び撮影方法の提案を行う。
- ・放射線の専門職として放射線被ばくの低減に努める。

主要事業

事業名	事業内容	目標
症例検討会	撮影技術、症例の研究発表	撮影技術及び診断知識の向上を図る。
院外勉強会	医師会・放射線技師会が主催する学会・勉強会の参加	最新医療技術の知識習得を図る。
チーム医療	・画像診断における読影の補助 ・医師・他部署との連携	・緊急度が高い所見を見落とさず医師との共有を図る。 ・検査時間の短縮・待ち時間短縮を心がけ安全・安心に検査ができるよう努める。
機器管理	機器の点検・整備を行い性能維持管理について理解する。	機器の性能維持管理の意識向上を図る。

平成30年度 課長方針

部課	市立病院 医務局 臨床検査科	科長	藤井 豊善
----	----------------	----	-------

科の運営方針

- ・臨床検査科は病院の基本理念に基づいて、常に患者の利益を最優先に考え、実行する。
- ・検査データの精確性を第一に考え、医師・患者へ、質の高い・責任を持った検査データの提供を心掛ける。
- ・試薬及び機器の安全管理に重点を置くと共に、臨床検査科全体及び個人の能力のスキルアップを怠らない。
- ・検査科として関わられる患者サービスの向上に、最大限の提供を心掛け、努力を怠らない。

主要事業

事業名	事業内容	目標
精度管理事業	毎日行う、内部精度管理及び年数回行われる外部精度管理事業に参加し検査データの精確性を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会や埼玉県医師会主催の外部精度管理事業に参加し、A評価を得ることを目標とする。 ・平成29年4月1日付けで承認された日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設認証」の継続認証申請を行い、承認されること。
機器の安全管理	日常の始業点検・定期点検を行い検査データを保障する。	日常の機器メンテナンスを心掛けることや毎日行なう内部精度管理データの検証により、機器・試薬に依存する検査データの不具合防止に努める。
医療安全管理	検査業務に関わるアクシデント・インシデント・ヒアリハットなどを発生させない医療安全管理を行なう。	検査業務に関わる医療事故防止のため、人的・機器的要因やシステムを分析し、検査科職員間で情報を共有、その発生防止に努める。また、従来の医療安全の考え方の上に、各自が判断し臨機応変に対応するレジリエンスの実践を行うため個人の調整能力向上に努める。
試薬・消耗品管理	検査データの精確性・安定性に重点を置き、コスト意識を常に持ち試薬の検討を行う。	試薬・消耗品の見直しを概ね完了したが、引き続き検査データの精確性・安定性を重視した上で、使用方法・管理等を見直し、コスト削減に臨む。
チーム医療	糖尿病療養・感染制御等チーム医療への参加など臨床支援に関わる。	検査科として関わられるチーム医療で、積極的な支援を継続する(糖尿病療養チーム、感染制御チーム、栄養管理チーム、小児科検査機器管理等)。
非常事態時の危機・安全管理	非常事態時の人的確保、検査データの提供、機器・試薬の管理・確保等の検討を行う。	大震災の教訓を生かし、種々の危機を想定した上で、検査科業務の対応を検討する。
患者サービス	検査科として出来る患者サービスを提案し、積極的に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・患者満足度が上がるような接遇について取り組む ・迅速検査において検体採取から結果報告までの時間(TAT)を短縮する。

平成30年度 科長方針

部課	市立病院 医務局 栄養科	科長	高田 隆
----	--------------	----	------

科の運営方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・自己研さんに励み、チーム医療の一員として栄養面から患者をサポートする。 ・おいしく、安全で、満足度の高い食事を提供する。 ・早期退院を目指し、患者個々の身体状況に応じた栄養管理を心がける。 ・実践しやすく、継続しやすい栄養食事指導を行う。 ・互いに認め合い、協力し、高め合う職場環境づくりに取り組む。 	

主要事業		
事業名	事業内容	目標
病院給食	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルを遵守し安全な食事を提供する。 ・食事アンケート、残菜調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理の徹底と、異物混入、誤配膳等のインシデントの発生防止。 ・患者の意見を献立に反映させた、満足度の高い食事の提供。
栄養（集団食事指導）	教室 糖尿病	糖尿病患者に対する集団栄養食事指導 <ul style="list-style-type: none"> ・6月、11月に実施。 ・リハビリ科、糖尿病専門医と連携し、実践形式を取り入れた指導を行う。
	教室 母親	産前・産後の栄養についての指導、助言。 <ul style="list-style-type: none"> ・月1回実施。 ・妊婦の安心につながる、常に最新で、正しい情報を提供できるように努める。
栄養食事指導（個人指導）	主治医や他院からの依頼による入院栄養食事指導と外来栄養食事指導	患者の社会背景を勘案し、実践しやすく継続しやすい食事計画の提案に努める。
入院患者の栄養管理	他職種と協力し、栄養状態のスクリーニング、栄養管理計画書の作成、定期的な評価を行う。	患者個々の栄養状態を把握し、問題がある場合は、最善の栄養療法を提案できるように努める。